

UC 派遣プログラム 2026-2027 年 派遣候補学生 学内募集要項

2026.3

※募集に関する情報・応募書類等は変更の可能性があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合がありますため、最新情報を必ず Go Global 東京大学海外留学・国際交流情報ウェブサイト（以下Go Globalウェブサイト）で確認すること。<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-UC.html>

概要

東京大学は以下の 2 つのプログラムのパートナー校となっており、本学学生はこれらのプログラムに参加可能である。本募集要項により、参加学生を募集する。

(1) カリフォルニア大学バークレー校 American and International Study Program (AISP) (別紙 1)

カリフォルニア大学バークレー校（以下 UC バークレー）の Charles and Louise Travers Department of Political Science が実施する American and International Study Program（以下 AISP）は、パートナー校から派遣された学生に、同校においてアメリカ政治・国際関係を学ぶ機会を提供している。学生は 1 学期または 1 年の間、UC Berkeley Extension の Concurrent Enrollment という制度により、UC バークレーの正規授業を現地学生とともに履修する。参加学生は、同校が定める授業料等の参加費を支払う必要がある。

(2) カリフォルニア大学デービス校 Global Study Program (別紙 2)

カリフォルニア大学デービス校（以下 UC デービス）の Continuing and Professional Education, International が実施する Global Study Program は、パートナー校から派遣された学生に、同校において最短 1 クォーター、最長 3 クォーターの間、UC デービスの正規授業履修もしくは語学学習を行う機会を提供している。参加学生は UC Davis Extension に所属し、同校が定める授業料等の参加費を支払う必要がある。

期間

下記の参加期間から選択可能。1 または連続した複数の期間。UC バークレーは最大 2 セメスター、UC デービスは最大 3 クォーターまで。詳細は別紙で確認すること。

UC バークレー	UC デービス
1. Fall Semester 8月～12月	1. Fall Quarter : 9月～12月
2. Spring Semester 1月～5月	2. Winter Quarter : 1月～3月
	3. Spring Quarter : 3月～6月

カリキュラム

別紙を参照すること。詳細については、参加が決定した学生に各校よりコース案内および受講希望コース決定のための手続き等の連絡がある。また、過去に参加した学生の報告書を Go Global ウェブサイト「留学体験記」のページ（<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-UC.html>）で読むことができる。

派遣学生数

UC バークレーAISP： 1 学期あたり最大 5 名

UC デービス Global Study Program： 上限なし

参加資格

以下の要件をすべて満たすこと。

- (1) 申請時及び派遣期間を通じ、本学学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在籍する者。
※学部学生のために設計されているプログラムであるため、もし大学院学生が参加する場合には、大学院レベルのコースの受講ができるかどうかは保証されない。
- (2) 留学または休学の手続きをとり渡航すること。(プログラム参加時に所属する学部・研究科の指示に従うこと。)
- (3) 大学院への進学予定者は、留学開始時までに進学していること。渡航中の学士課程から修士課程への進学、修士課程から博士課程への進学等はできない。学部前期課程と後期課程に跨る留学を希望している者は、別添 1 を参照すること。
- (4) 学部学生は、応募までに国際総合力認定制度 (Go Global Gateway) におけるオンデマンド講座の受講 (動画視聴と確認テストの提出) を完了すること。受講の所用時間の目安は約 100 分。
※オンデマンド講座：<https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/ggg.html>
- (5) 渡航前のオリエンテーションは参加が必須であることを応募にあたり理解すること。なお、2026 年秋出発者向けのオリエンテーションは、2026 年 4 月 16 日 (木) 19 時～21 時に開催予定である。(2027 年冬以降出発者向けのオリエンテーションの開催日時は未定だが、2026 年 10 月頃を予定。) 真にやむを得ない事情があると認められる場合を除き、オリエンテーションに参加しなかった場合は、原則として留学は認められない。
- (6) 以下のとおり各校が指定する英語能力を有すること。英語能力証明書類は学内選考後、本部国際教育推進課と派遣先大学に提出する。学内選考の結果通知から 1 週間以内に、以下の要件を満たす有効期限内の証明書類を提出できない場合、推薦は行わない。

◆ UC バークレー

English Proficiency
TOEFL iBT 90
IELTS 7.0
Cambridge Proficiency Exam: Pass
Cambridge Certificate of Advanced English: Pass

※ただし指定されている語学要件は最低基準であり、UC バークレーの授業は非常に厳しく、多くのリーディング課題が課されるため、このようなレベルの学習を英語で行う準備ができている場合のみ応募すること。

◆ UC デービス

以下のとおり英語能力に応じたコースが用意されており、語学レベルが十分でない場合は語学学習 (ESL/English as a Second Language) を行う。提出された英語能力証明書類により、該当するレベルを判断される。

Coursework	English Proficiency
① Full-time Academic Credit 正規授業履修コース	TOEFL iBT 80, PBT 550 IELTS 6.5
② Guided Full-Time Academic Credit 正規授業履修と語学学習を組み合わせたコース	TOEFL iBT 71, PBT 530 IELTS 6.0
③ ESL Preparation Program 語学学習をメインとしたコース (正規授業履修も一部あり)	TOEFL iBT 61, PBT 500 IELTS 5.5

- (7) UC バークレーAISP は、アメリカ政治・国際関係に関する科目履修に関心のある学生向けのプログラムである。AISP では、1 学期あたり Political Science に関する 3 科目 (12 units) を履修する。3 科目 (12 units) のうち 2 科目 (8 units) は必修科目 (Political Science の科目) を履修することが求められているため、納得した上で申請すること。
- (8) UC デービス Global Study Program は GPA 3.0 以上 (4.0 満点) を参加の条件としている。GPA については日米教育委員会ウェブサイト (https://educationusa.jp/steps/schedule_supplement.html#step04) を参照し計算すること。最終的な判断は提出する成績証明書により派遣先大学が行う。
- (9) 別紙及びその添付書類に記載の事項をよく確認し、納得した上で申請すること。
- (10) 履修において不利益とならないよう、東京大学での授業・試験日程、その他各自の予定等を申請前に十分確認し、参加が可能な場合のみ応募すること。特に UC バークレーAISP は、東京大学からプログラムに参加できる人数に上限があり、学内選考後に辞退すると他の学生の留学の機会を失することにつながるため、原則として申請後に辞退することのないよう注意すること。
- (11) 東京大学の授業に一定期間出席できない場合等の取扱いについては、留学時の所属学部・研究科の判断による。プログラムへの参加に際し必ずしも配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で申請すること。
- (12) プログラム参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、応募する旨承認を得ておくこと。
- (13) プログラム参加時に所属する予定の学部・研究科の担当部署 (「問い合わせ先」参照) に相談し、応募前にプログラム参加に関する学務上の留意点の説明を十分受け、納得した上で申請すること。学部・研究科により、プログラム参加にあたって独自の条件を課す場合がある。
- (14) 本プログラムに参加し所定の要件を満たした場合には、UC バークレー・UC デービスから単位や修了証等が付与されるが、本プログラムで修得した単位等を本学の単位として認定できるかどうかは留学時の所属学部・研究科の判断によるので、納得した上で申請すること。単位認定の手続き等については、留学時に所属する予定の学部・研究科の担当部署にて事前に確認及び相談すること。

費用

- (1) 詳細は別紙を参照すること。記載されている金額は見積もり額であり、実際の支払額は変更となる可能性があるので注意すること。
- (2) 授業料・宿泊料・航空賃・教材費・ビザ取得費用等、参加に要する経費は自己負担となる。

奨学金

(1) 奨学金受給者の決定方法

原則として、以下の条件を満たす者には優先して奨学金が受給される。

- ①経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者。
- ②学業成績が優秀であり、在籍大学等における選考時の前年度の成績評価係数が 2.30 以上(3.00 満点)である者。成績評価係数の定義については、以下の資料参照。<https://x.gd/tlKuW>

(2) 奨学金受給手続き

校内選考通過後、プログラム付属奨学金申請フォームへ回答することによりグローバル教育センターを通じた奨学金（月額 11 万円・返済不要）に申請することができる。申請の詳細は校内選考通過後、2026 年 4 月末（3 月締切までに応募した場合）まで、もしくは 9 月末（7 月締切までに応募した場合）までに連絡する。他団体等から奨学金等を受給する場合、当該団体等からの受給額や規定によっては、奨学金の併給ができない場合がある。

（参考）2025-2026 年期派遣学生のグローバル教育センターを通じた奨学金

2025-2026 年期の派遣学生には、以下の奨学金を支給した。2026-2027 年期が同様とは限らないが、参考のため掲載する。

財源	①日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度 (協定派遣) ※1	②The Fung Scholarships ※2	③Go Global 奨学金 (東京大学海外派遣奨学事業)	④ 東京倶楽部奨学金 ※3
説明	学生交流に関する協定等に基づいたプログラムに参加する日本人学生等に対して、留学費用の一部を奨学金や渡航支援金として支援する JASSO による制度。	Victor and William Fung Foundation が、将来の世界のリーダーの育成を目的に、世界の大学の学生に異なる文化や環境に触れる機会を提供することを支援しているもの。	東京大学が、海外留学等を行う学部学生・大学院学生に対し、奨学金を支給することにより、学生が国際的な理解を深めることを推奨し、世界を舞台として行動する人材の育成に資することが目的。	公益目的事業を推進する一般社団法人の東京倶楽部より支援いただいた奨学金。
対象	規定の資格・要件（留学応募時の前年度の成績評価係数が 2.30 以上等）を満たす者		左の資格・要件を満たさない者のうち一部	左の資格・要件を満たさない者のうち一部
金額	月額 11 万円（派遣地域によって異なる）			

※1: https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/haken/index.html

※2: <https://www.fungfoundation.org/>

※3: <https://www.tokyoclub.or.jp/index.html>

（参考）他団体等からの奨学金

より条件のよい各種奨学金団体等による奨学金制度に申請することも可能である。

詳細は、過去の派遣学生の体験記を参考にするとともに各奨学金詳細ページに記載の問い合わせ先に問い合わせること。

●過去の派遣学生の体験記

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list.html>

●日本学生支援機構 海外留学情報サイト 「海外留学奨学金検索」

https://ryugaku.jasso.go.jp/form/search.php?f=scholarship_abroad.html

●Go Global ウェブサイト 「奨学金情報」

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/scholarship-index.html>

●東京大学 オフィシャルウェブサイト 「奨学金（奨学制度インデックス）」

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/welfare/h02.html>

●米国伊藤財団－FUTI 奨学金および IF 育英奨学金（米国派遣学生向け）

<https://x.gd/SAO8Q>

応募締切

UC バークレー応募締切：2026年3月16日（月）正午

UC デービス応募締切：Fall Quarter 開始：2026年3月16日（月）正午

Winter Quarter・Spring Quarter 開始：2026年7月31日（金）16時

(1) 上記の締切までに応募フォーム（Microsoft Forms）からの電子申請を完了させること。

URL：<https://forms.office.com/r/4Fz97XXcng>

(2) 各校への提出用申請書等に記載の締切日（学内選考後に派遣先大学へ提出する書類の締切日）とは異なるので注意すること。

応募方法・応募書類

(1) 応募フォームからの電子申請を完了させること。不備のある申請は選考対象外となる。

(2) 応募フォームの記入項目「留学時に所属する予定の学部・研究科からの留意事項確認」には、留学時に所属する予定の学部・研究科の担当部署から留学に関する留意点の説明を受けた後、説明を受けた担当部署名・担当者のイニシャル・日付を記入すること。記入されていない場合は申請を受理しない。

(3) 応募フォームの記入項目「留学を希望する理由」、「留学における学習計画」には、応募フォーム内で指示された要件を満たす内容を記入すること。要件を満たさない場合は申請を受理しない。

(4) UCバークレーを希望する場合、第二希望でUCデービスを希望することも可能だが、学内選考後、本学から推薦するのはいずれかの一校のみとなる。なお、学内選考後の辞退は原則認められないため、真剣に留学の意思がある大学のみ記入すること。UCデービスは派遣学生の上限がないため、第二希望を選択する必要はない。

(5) 応募フォームでアップロードする書類は、以下の通り。

① 誓約書（指定書式に記入・署名後スキャンしたPDF。保証人の署名も必要。）

Go Global ウェブサイトよりダウンロードすること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-UC.html>

② 学部前期課程と後期課程に跨る留学に関しての留意点（該当者のみ。別添1参照。応募フォームとは別のMicrosoft Formsから提出。）

③ 本学の成績証明書（英文・UCバークレー希望者のみ）

※成績評価の基準（何段階評価か、等）が説明されている部分も含めて提出すること。

※本学で成績を取得していない場合は、本学以外の高等教育機関で学位を取得していれば、その機関の成績証明書（英文）を提出すること。

学内選考

- (1) 書面審査を行い、派遣候補学生を決定する。
- (2) 選考結果は締め切り後 1 ヶ月以内に、応募フォームに記載の E メール宛に通知する。申請時及び留学時の所属学部・研究科にも別途通知する。
- (3) 重要事項等の連絡は応募フォームに記載の E メール宛に行うため、応募後は定期的に E メールを確認すること。迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、迷惑メールフォルダも確認すること。

派遣候補学生内定後の留意事項

- (1) 学内選考を通過した学生は、本部国際教育推進課から各校へ推薦を行う。その後各校から直接、申請手続きについての案内が届くため、学生はそれに従って各自で手続きを進める。案内が届くまでに各校のウェブサイト等を参考に早めに申請書類の準備を進めておくこと。各校での申請内容の審査の後、受入許可の通知を受領した時点で、受入が正式に認められたこととなる。
- (2) 渡航手続き・ビザ取得手続き等は、派遣先大学等の指示に従い、米国大使館等で必ず最新の情報を得て本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。
- (3) 派遣候補学生に内定した場合でも、次の場合は派遣できない。
 - ① 派遣先大学で募集人員が減ったとき。
 - ② 派遣先大学の受入許可が得られなかったとき。
 - ③ 「参加資格」の要件を満たしていないことが判明したとき。
 - ④ その他、グローバル教育センターが、留学が適当でないと認めたとき。
- (4) 派遣の資格を満たすことができない可能性が生じた場合、早急に所属する学部・研究科の担当部署を通じて本部国際教育推進課へ連絡すること。また、UC バークレー・UC デービスの規程に基づき、本人の責任により、各校に対して参加辞退や支払い済みの費用の返金の手続きを行うこと。条件によっては返金できない場合や手数料が発生する場合もあるため、詳細は別紙およびウェブサイト等によく確認すること。
- (5) 一般的な留学のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照すること。
(<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/voyage-index.html>) 特に、危機管理ガイドブックは必ず熟読すること。
- (6) 誓約書に記載のとおり、学研災付帯海外留学保険「付帯海学」と派遣学生危機管理サービス OSSMA (Overseas Student Safety Management Assistance) に必ず加入すること。
- (7) 留学時に所属する学部・研究科の指示に従い、「留学」または「休学」の手続きをとり渡航すること。手続きについては、留学時に所属する予定の学部・研究科の担当部署にて事前に相談すること。
- (8) そのほか、本学が指示する注意事項に従うこと。

プログラム参加の際の注意事項

- (1) 本プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
- (2) 参加学生は本学を代表する立場にあることを自覚し、滞在先の機関・国や地域の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

プログラム終了後の報告等

- (1) 派遣学生は、派遣前に案内がある「帰国後提出書類」についてプログラム終了日から 2 週間以内 (必着)

に提出すること。

- (2) 各種奨学金の受給者については、上記以外にも指定された報告書類を提出すること。
- (3) 派遣先大学で修得した単位等を本学の単位として認定できるかどうかは所属学部・研究科の判断による。本プログラムで修得した単位等が必ずしも本学の単位となるとは限らない。単位認定の手続き等については、所属する予定の学部・研究科の担当部署にて事前に確認及び相談すること。
- (4) 派遣学生には本学の国際化に関する取組への協力を依頼する場合がある。報告会や説明会への参加、留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等の依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

その他

申請に当たって所属学部・研究科及び本部国際教育推進課が知り得た氏名・連絡先その他の個人情報については、派遣候補学生の専攻・決定、派遣先大学への手続き、本学の国際化に関する取組への協力依頼等の業務を行うために利用する。

問い合わせ先

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名にプログラム名、本文に氏名・所属・学年を明記すること。

- (1) プログラム全体に関すること：

東京大学本部国際教育推進課 学生交流チーム (studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

- (2) 国際総合力認定制度 Go Global Gateway に関すること：

東京大学本部国際教育推進課 国際支援チーム (国際総合力認定制度担当)

(go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

- (3) 単位認定等、本学での学務関係の事項：

プログラム参加時の所属学部・研究科の担当部署

各学部・研究科の担当部署一覧：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html>

以上